



大田区自立支援協議会だより 第25号

【編集・発行】大田区自立支援協議会

令和6年10月発行

【事務局】大田区立障がい者総合サポートセンター

〔電話〕03-5728-9134 〔FAX〕03-5728-9136

「大田区自立支援協議会」は、障がい児・者の地域での自立した生活を支援するため、障がいのある方や障がい福祉に係わる様々な分野の関係者が参加して、定期的な協議を行い地域での課題について情報を共有し、連携を取りながら具体的な検討を行うことを目的として区が設置しています。

大田区福祉人材育成・交流センターとの

連携企画を行います！

昨年度開催の全体交流会からつながるテーマを考えました

昨年10月開催
全体交流会テーマ
「あなたにとっての“あんしん”
とはなんですか？」

キーワードは「あんしん」
「意思決定支援」をテーマに設定
令和6年11月21日(木)開催

「あんしん」は人によって様々ですが、「自分のことを自分で決められる」ことは「あんしん」という言葉の裏にあるのではないかと…ということから、「意思決定支援」というテーマが出ました。



大田区福祉人材育成・交流センターとのコラボが実現！



今回の企画は、大田区福祉人材育成・交流センターが開催している「複合課題対応研修」との連携企画になります。障害分野の他、様々な分野の福祉従事者が対象になっているため、これを機に多くの方々に協議会活動について興味を持っていただければと思います！

*協議会委員のみ委員の方には、参加のご案内等詳細を別途お知らせいたします。

意思決定支援について、これまで幾つかの方法や研修プログラムを仲間とともに考え実践してきました。それで最近、次のように思います。

意思決定支援ということばや考えは、支援を受ける本人のためのことばであることもありますが、支援者のため(あるいは都合)で用いられることも少なくありません。本人の立場からすれば意思決定支援ということばは不要で、むしろ「わたしの希望や願いにきちんと付き合う」(賛成にしる反対にしる)、ということでも十分かもしれません。

いっぽうで、うまく周りに思いが届かずにいる人には、何らかの支援が必要なかもしれませんが、そのときには本人から「あなたがいてよかった」と思われる関係性が大切なのでしょう。

～コラム～
名川会長に聞きました！
「意思決定支援」について

